

FI/Tr

千曲川 舟つなぎ石



Ver.1(2020/2/1)

災害伝承 DATA

所在地：長野県佐久市塩名田千曲川河川敷
緯度・経度：北緯 36 度 16 分 17.0 秒
東経 138 度 25 分 7.3 秒
伝承形式：岩石・奇岩
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨
災害発生：江戸時代以降頻繁に確認
建立時期：不明
指定等：佐久市指定史跡
周辺地形：河道沿い



観光情報はこちら

言い伝え・伝説

江戸時代、塩名田宿付近の千曲川は、流れも急で、洪水のたびに橋が流されていました。「舟つなぎ石」は、多発する洪水による落橋を防ぐため船をつないで板を架けて橋とする「船橋」の船をつなぎ止めた、上部に穴が開けられた石です。

周辺案内

付近は中山道の宿場として、塩名田宿と八幡宿が置かれていました。旧塩名田宿では、市史跡「塩名田本陣跡」をはじめとして「高札場跡」などが残されており、宿場町の様子を垣間見ることができます。また近隣には、市史跡「八幡宿本陣跡」や、さらに重要文化財やいくつかの市指定有形文化財があります。